

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	環境社会学		
英文授業科目名	Sociology of Ecology and Circumstances		
開講年度	2005年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	石井 雅章		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>われわれは毎日社会のなかで様々な出来事を見たり経験したりしているが、その土台となっている社会のしくみや、出来事を引き起こしている構造を意識することは意外と少ない。本講義では、現代の社会において様々なかたちで表れている環境問題を題材として取り上げ、それをもたらしている現代の社会構造について考察していく。大量生産/大量消費によって成立する現代の社会経済システム、廃棄物処理のしくみと不法投棄の関係、企業による環境対策が抱える困難、遺伝子組換え食品と農業の問題が考察の具体的な対象となる。</p> <p>これらの社会構造がわれわれの日常生活から離れて存在しているのではなく、生産者/消費者/労働者/資本家/市民としての自分というように、われわれ自身の生き方と様々なかたちで関係しながら存立していることを理解し、その中に取り込まれつつも変革させていく道筋についても考えていきたい。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
<p>参考書：</p> <p>「現代社会の理論」 見田宗介 岩波書店 700円</p> <p>「産廃コネクション」石渡正佳 WAVE出版 1600円</p>

【授業内容とその進め方】

授業内容：

- 1．環境面からみた現代社会
- 2．社会経済システム面からみた現代社会
- 3．大量生産／大量消費社会の存立構造 1
- 4．大量生産／大量消費社会の存立構造 2
- 5．企業による環境対策の進展と困難 1
- 6．企業による環境対策の進展と困難 2
- 7．廃棄物処理システムと不法投棄の関係 1
- 8．廃棄物処理システムと不法投棄の関係 2
- 9．遺伝子組換え食品と農業の問題 1
- 10．遺伝子組換え食品と農業の問題 2
- 11．まとめと質疑

進め方：

毎回、シラバスで紹介した内容を扱う「本編」（60分程度）と、現在起きている環境問題とその対策にスポットをあてた「トピックス」（30分程度）を行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

毎回講義の最後に質問・コメントを書いたペーパーを提出することで出席を取る。
成績は出席点（20％）と中途で出す課題提出（10％）、期末試験の点数（70％）で評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

毎週授業後30分程度をオフィスアワーとする。
授業後に声をかけてもらうか、非常勤講師控え室をロックしてください。

【学生へのメッセージ】

【その他】